

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

令和2・3年度 第4回 理事会議事録 (Web会議) (摘録)

令和3年2月16日(火) 20:00~22:00

出席者 会長: 福興和正 副会長: 浅井英世、川崎良明、藤岡 治

理事: 麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、稲村直樹、猪原秀典、大島清史、大橋一博

杉山貴志子、中川尚志、中澤 宏、永田博史、野上兼一郎、吉村 理

監事: 伊東祐久、岩佐英之 事務局: 平間妙子 (計20名)

報告事項

庶務委員会 (大橋理事)

1. 令和2・3年度第3回理事会議事録を報告した。
2. 入会・退会・異動・入会申込書を報告した。
3. 令和2年度会費納入者及び未納者を報告した。

経理・会員福祉委員会 (稲村理事)

1. 経理に関して
令和3年1月末までの会計報告をした。
2. 会員福祉に関して
大規模自然災害に対する対応を報告した。

地域医療委員会 (野上理事)

1. 第3回新型コロナウイルス感染拡大の影響についての全国調査について、アンケートの期日を当初11月16日までにしていたが、11月30日まで延長することに決定した。
2. 12月7日から25日の間、新型コロナウイルス陽性者情報のアンケートを(学術委員会との合同で)行った。350件の回答があった。結果はHPに掲載(1/12)。
3. 第3回新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療アンケート調査結果の詳細解析をHPに掲載した。(1/12)
4. 第4回アンケートについては、1月下旬より協議を行い、2月8日から28日の間の予定で、第4回新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来

診療アンケート調査を行うことを決定した。回を重ねていくにつれアンケートの回答者数が減少する傾向がみられた。アンケート内容の更なる充実、並びにアンケート結果の的確な報告について検討を重ねていきたい。

保険医療委員会 (杉山理事)

1. 令和2・3年度第4回日耳鼻保険医療委員会(合同委員会)の報告を行った。
 - (1) 令和4年診療報酬改定の要望項目につき外保連、内保連それぞれのアンケートに答えて要望項目を提出した。日医からの要望項目は次年度になる。
 - (2) 令和3年1月24日(日)に日耳鼻保険医療委員会全国会議がWeb開催(Zoom)で行われた。木村百合香先生が事務局講演、森恵莉先生、兵行義先生がリモート講演であったが滞りなく終了した。
 - (3) 日耳鼻オンライン診療の手引きについての諮問があり、保険医療委員会の立場で回答した。

学校保健委員会 (大島理事)

1. 令和2・3年度第4回学校保健委員会を12月9日(水)、日耳鼻学校保健委員会と合同で行った。(Web会議(Zoom))
第1回日本医師会学校保健委員会が11月27日(金)、Hybridで開催された。会長諮問「学校

における保健管理の在り方の検討 - after コロナを見据えた児童生徒等に対する健康教育推進」が今後議論される予定である。

協議事項として令和2年度日耳鼻学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会について最終確認が行われた。

2. 令和2年度日本耳鼻咽喉科学会・日本臨床耳鼻咽喉科医会 学校保健全国代表者会議ならびに学校保健研修会 日時；令和3年1月24日（日）、Web開催された。

「健康教育推進強化のためのアンケート調査結果について」報告があった。

研修会として「学校における嚙下障がい児への対応について」森耳鼻咽喉科院長 森正博先生より講演があり、特別支援学校における学校医としての嚙下障がい児への対応の実際が多数供覧された。

福祉医療委員会（麻生理事）

1. 令和2・3年度第2回福祉医療・成人老年委員会議事録を報告した。
2. 令和2・3年度第2回福祉医療・乳幼児委員会議事録を報告した。
3. 軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費用助成制度に関する調査を報告した。

学術委員会（浅井副会長）

日耳鼻秋季大会実行委員長の武田憲昭教授から第1回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション（設立記念講演会）の会場参加者数、Web視聴者数の集計結果とアンケートのフリーコメントについての連絡があり報告した。

1. 専門医共通講習：医会組織の必要性と他科との連携
会場参加者数：85名、Web視聴者数：1535名、合計：1620名
2. 領域講習成育基本法における耳鼻咽喉科の役割
会場参加者数：110名、Web視聴者数：988名、

合計：1098名

3. フリーコメント

- (1) 成育基本法における耳鼻咽喉科の役割

- ① 勉強になりました。
- ② 日本臨床耳鼻咽喉科医会の立ち上げ当時の経緯を知っていたのでうれしかった。
- ③ 自見議員の政治活動を周囲の方も理解されて、医師会の考え方がより良い方向で政治に反映されていくことを祈念しています。
- ④ 行政と臨床の密な取り組みが必要と感じた。

- (2) 公益社団法人日本眼科医会の活動

- ① 医会としてどのように要求・目的をまとめ、実現していくか参考になると思いました。
- ② 一人ひとりでは力が出せないことでもあるので。
- ③ 大変勉強になりました。
- ④ 眼科医会の充実ぶりに驚いた。当科も見習う点が多いと感じた。

- (3) 日耳鼻と医会

勤務医委員会（永田理事）

令和2年11月8日の第1回学会・医会連携会議の後、他科医会の勤務医部門の実情を調査し、本医会における勤務医委員会の業務の進め方について検討した。実際には、令和3年1月31日までに、各都道府県の勤務医代表を選任していただいた。そして、令和2年2月10日付で、各都道府県勤務医代表あてに「勤務医アンケートのお願い」を送付し、勤務医のご意見やご要望の調査を依頼した。アンケートの回答先は担当理事永田とし、締め切りは4月16日とした。

会報委員会（石谷理事）

1. 表紙デザインの決定について報告した。
2. 会報発送先について報告した。
3. 会報の項目の細別のルールについて報告した。
4. 理事会議事録、委員会紹介及び委員会議事録

の校正について報告した。

医事問題委員会（阿部理事）

1. 医事問題も合同委員会で1月23日にZoom併用で開催された。
2. E入りキシロカイン、ボスミンの使用上の注意の改定の問題がかなり前から話題になっていたが、昨年の12月に改定された。耳、指趾への投与の禁忌が外れ慎重投与となり十分な注意をもって使用することが可能になった。

協議事項

庶務委員会（大橋理事）

1. 入会退会異動届の理事会承認手順を協議した。
2. 令和2年度事業報告（案）及び令和3年度事業計画（案）を協議した。

経理・会員福祉委員会（稲村理事）

1. 令和2年度会計の繰越金の取り扱いについて協議した。
2. 令和2年度収支決算見込み及び令和3年度収支予算（案）について協議した。

会報委員会（石谷理事）

1. 理事会議事録、委員会紹介及び委員会議事録の校正について「WEB」「Web」「web」を「Web」に統一することが提案され異議なく承認された。

医事問題委員会（阿部理事）

1. 第45回日耳鼻医事問題セミナーのプログラムに関して、「耳鼻咽喉科外来診療における感染症対策」を取り上げることに決定した。勤務医側は東女医の山村幸江先生が、開業医側は阿部が選定することとなった。開業医側の講師は東京都医事問題委員の榎本冬樹先生を推薦し、すでに医事問題委員会に報告済みである。

その他（福與会長）

1. 日本医師連盟の推薦状について説明があった。
令和3年2月16日に本会理事会において自見はなこ参議院議員を推薦することを決定した。
2. オンライン診療について説明があった。
3. 令和4年度診療報酬改定について説明があった。
4. 第122回日耳鼻学会総会・学術講演会中の臨床耳鼻咽喉科談話室（仮称）の設置について説明があった。